

KEC Business School 中小企業診断士講座 since1974

2023・02-2024・10

祝 KEC合格祝賀会



2020年1月11日(土) 2019年中小企業診断士試験・合格祝賀会

本気で合格者のみ 志士募集!

本気でビジネススキルを向上させ、

中小企業診断士試験に合格し、

自己実現と社会貢献を果たそうとする

志の実現を、

最先端の科学的学習システムと

プロフェッショナル講師陣による

熱誠指導で全面的に支援します!

特集

2次で必要な 5つの能力

——知識力・読解力・思考力・記述力・計算力

インタビュー
Umano! #12



エンターテインメント経営を目指す
沖繩のミュージシャン&事業家
照屋 林賢さん
「りんけんバンド」リーダー

新連載

あの人がうまくいかない
動きの正体

講座

中小企業診断士試験
実戦! 錬成問題集
ふぞろい流合格ゼミ2019
1次試験編/2次試験編

Interview



経営者チェーン「はなまる」の社長が
診断士仲間と始めた会社とは—
川名 勝経さん



おかげさまで KEC ビジネススクールは「企業診断」 2019・5月号の特集「2次で必要な5つの能力」として 取り上げられました!

内容は2次試験に必要な能力の鍛え方を徹底解説、受験生の基礎力向上を目指す方法等が掲載しておりますのでぜひ一読ください。

月刊「企業診断」は、1953年創刊以来、ビジネスパーソンのための情報誌として高く評価されています。

「企業診断」は日本でただ1つの企業診断・経営コンサルティング実務の専門誌です。数ある経営誌のなかにあって、1953年4月の創刊以来、企業経営の諸問題についてコンサルティングの領域から切りこむ独自の編集方針で、オピニオン・リーダーの役割を果たしています。中小企業の業務改善の診断・支援をはじめ、IT対応、国際化対応等、コンサルティングの実務に役立つ内容を毎月お届けしています。また、中小企業関係法令の発令・改正等の情報、各種業界の最新情報も充実。中小企業診断士をめざす方のための実力錬成講座も好評です。

Content

難関とされるサムライ業の多くがAIに代替されかねない

資格試験	AIによる代替可能性	資格試験の合格率	主な業務
弁護士	1.4%	※25.9%	訴訟代理などの法律事務
司法書士	78.0	3.9	登記や供託に関する手続き
弁理士	92.1	7.0	特許などの出願・登録手続き
行政書士	93.1	9.9	官公署に提出する書類の作成
公認会計士	85.9	10.8	財務書類の監査・証明
税理士	92.5	15.8	財務書類の作成や税務相談
社会保険労務士	79.7	4.4	労働・社会保険に関する書類の作成
中小企業診断士	0.2	3.4	中小企業の経営コンサルティング

(注) AIによる代替可能性は2015年12月公表の、野村総研と英オックスフォード大との共同研究による「10～20年後に、AIによって自動化できるであろう技術的な可能性」。資格試験の合格率は★が17年、その他は16年。中小企業診断士の合格率は1次試験と2次試験の合格率を乗じたもの

企業法務系の上サムライ業で業務の見直し相次ぐ背景には、野村総研研究所が2年前に発表した衝撃的な研究結果がある。英オックスフォード大学との共同研究は、独占業務を持つこれらの業種の多くで「人工知能(AI)による代替可能性が高い」と指摘した。

同研究は「10～20年後に、日本の労働力人口の約49%が技術的に代替可能」とし、国内の601業種についてAIに取って代わられる可能性を分析した。弁理士は1・4%と低いものの、弁理士92・1

奪われる 定型業務

野村総研は代替可能性が高い業種について「定型業務が多い(調査を担当した岸浩樹主任コンサルタント)など」と指摘。一方で中小企業診断士などは「経営者を説得する能力などが重要で、代替可能性は低い」とした。

この結果に各業界の団体は「反発」「弁理士は発明者と協力しつつ良い特許を作り上げるコツが大切。簡単にAIに

「膨大な事例の調査や技術的文章の作成はAIの得意分野。ほとんどが置き換わるのでは」。AIとの関係などについて情報を発信する日比佐明弁理士はこう指摘する。

代替の危機 新事業に挑む

特許や商標など知的財産の出願・登録を企業から請け負う弁理士。過ぎが開始された。五味和泰の事例を調べて出願書類を作成し、特許庁とやり取りしつつ登録までを代理するが、仕事AIに置き換えられかねない。この危機感強い。

料金は4分の1

「膨大な事例の調査や技術的文章の作成はAIの得意分野。ほとんどが置き換わるのでは」。AIとの関係などについて情報を発信する日比佐明弁理士はこう指摘する。

AI時代のサムライ業

人工知能(AI)の利用が広がるにつれ、弁護士や弁理士など企業法務に関わるサムライ業が「一定的な独占業務はAIに取って代わられかねない」と危機感を強めている。起業して新事業を始めた、いち早くAIを取り入れたりするなど、業務の見直しに取り組み動きも始まった。

(編集委員 渋谷高弘)

弁理士 商標サイトで起業 司法書士 M&Aなど仲介も

料金は対面で発注する場、中々で中小企業経営者には事業承継を指図した5分の1という。五味氏は「特許出願は発明者との複雑な共同作業が伴うので、当面、AIの導入は難しい」とみている。他方、「商標出願に多額の経営者を知り合える。誰かがAIを導入する、強クを生かそうと考



GVA法律事務所は朝会でベンチャーの最新情報を共有。代表の山本弁護士(左)は業務へのAI導入も準備中だ

行政書士の石下貴大氏に得意とするのは、産業廃棄物処理業に関わる許可の書類作成と契約書の作成だ。同氏は行政書士と別に15年秋、新会社「wele」を共同設立。主な顧客である建設会社と産業廃棄物処理業者を結び、電子契約書サービスを提供し始めた。

建設会社は、廃棄物処理法の許可を受けた運搬業者や処理業者に産業廃棄物を委託する。これまで行政書士は両者が交わす契約書のひな型を紙で作成し、双方に郵送、押印してもらっていた。

電子化で顧客は紙の契約書に必要な印紙代や郵送・保管代を大幅に節約できる。行政書士として受け取る報酬は変わらないが、石下氏は「電子契約書をきっかけに各地の業者の情報を集め、将来はAIで両者をつなげる」と戦略を描く。

野村総研は代替可能性が高い業種について「定型業務が多い(調査を担当した岸浩樹主任コンサルタント)など」と指摘。一方で中小企業診断士などは「経営者を説得する能力などが重要で、代替可能性は低い」とした。

この結果に各業界の団体は「反発」「弁理士は発明者と協力しつつ良い特許を作り上げるコツが大切。簡単にAIに

2017年9月25日 日本経済新聞 朝刊より

AIに置き換えができない“中小企業診断士” 代替可能性はわずか0.2%

ここ数年、「AI」が注目されていますが、「中小企業診断士」は50年後を考えても、必ず残る資格です。それはコンサルティングの機械化が難しいからです。「経営」はその時代の世界情勢、経済情勢の中での正解があるため、「AI」ではなく人が経営スキルをもって判断する必要があります。これからも長く続く資格だからこそ、ビジネスパーソンにとって必須の資格であるといえます。

資格ガイド | 選ばれる理由

日本経済新聞社と就職・転職情報サービスの日経HRは共同で、ビジネスパーソンを対象にした調査した。調査(調査項目)を調査した。首は中小企業診断士で前年の6位から大きく順位を上げた。上位には英語能力テスト「TOEIC」や企業の財務部門での業務に欠かせない簿記検定など、実用性の高い資格が並んだ。

客観的な証明に
今後資格取得に向け「勉強したい、勉強を始めてみたい」と回答したのは40.6%だった。資格取得が目的(複数回答)の割合は38.8%の1位分の知識・スキルを体系的に証明するから、「将来のキャリアアップのため」(28.0%)が続いた。

取りたい資格で首位の中小企業診断士は経営コンサルタントを認定する唯一の国家資格、中小企業の経営診断・助言を行う。合格率約4%と難関だが、経営全般に関する知識や公務員など幅広い職種で人気を集めている。将来のポストに不安を感じる会社員らが、資格や独立の機会として取得するケースが増えていると見られる。

前回1〜3位を占めたTOEICの人もも増えた。英語の多くの大学1、2年生でTOEICテストのスコア(470〜730点未満)、3位に入っており、企業でのグローバル化が進むなかで

「新たに取得したい資格ランキング」

順位	資格名	割合(%)
1	中小企業診断士	16.0
2	TOEICテスト(Cレベル、470〜730点未満)	15.4
3	TOEICテスト(Bレベル、730〜890点未満)	14.8
4	TOEFLテスト	14.0
5	宅地建物取引士	12.5
6	日商簿記検定2級	5.3
7	日商簿記検定3級	5.2
8	TOEICテスト(Aレベル、890点以上)	4.9
9	TOEICテスト(Dレベル以下、470点未満)	4.5
10	ビジネス実務法務検定準1級、2級	4.4

幅広い層に人気の中小企業診断士は、主に簿記資格の取得に向け、2年以上の長期計画を立てている人も21.5%に上った。

5位は宅地建物取引士で前年の4位から順位を落としたものの人気は依然高い。日商簿記検定は6.2%、具体的には、学習意欲が7位に3級が1.1%以内、1〜2年以内に取得したいという人が4.9%、9%で、海外で資格取得を目指す人も1.2%に上った。

調査によると、AIの影響で「需要減る」会計や語学

中小企業診断士トップに

取得したいビジネス関連資格 本社など調査



やはり英語、簿記上位

「新たに取得したい資格ランキング」

順位	資格名	割合(%)
1	中小企業診断士	16.0
2	TOEICテスト(Cレベル、470〜730点未満)	15.4
3	TOEICテスト(Bレベル、730〜890点未満)	14.8
4	TOEFLテスト	14.0
5	宅地建物取引士	12.5
6	日商簿記検定2級	5.3
7	日商簿記検定3級	5.2
8	TOEICテスト(Aレベル、890点以上)	4.9
9	TOEICテスト(Dレベル以下、470点未満)	4.5
10	ビジネス実務法務検定準1級、2級	4.4

保有している資格への満足度について聞いたところ、ランキング上位はIT(情報技術)関連の資格が最も高い。中でも中小企業診断士は「満足」の割合が最も高く、コストパフォーマンスの高さから「満足」の割合が最も高い。ITエンジニアの満足度は、前回は17.1%だった。

保有している資格への満足度について聞いたところ、ランキング上位はIT(情報技術)関連の資格が最も高い。中でも中小企業診断士は「満足」の割合が最も高く、コストパフォーマンスの高さから「満足」の割合が最も高い。ITエンジニアの満足度は、前回は17.1%だった。

満足度、専門性に比例 保有資格「低コスト」も評価

満足度ランキング	資格名	割合(%)
1	応用情報技術者	17.1
2	秘書技能検定2級	12.5
3	ビジネス実務法務検定3級	11.8
4	ビジネス実務法務検定2級	11.2
5	電気工事施工管理技士	10.5
6	マイクログラフ認定	10.2
7	日商簿記検定2級	9.8
8	TOEICテスト(Aレベル、890点以上)	9.5
9	社会保険労務士	9.2
10	ファイナンシャル・プランニング(FP)技能検定2級	8.9

国家試験である応用情報技術者試験は、活用度ランキングで2位に上った。例年合格率が2%程度という難関資格だが、IT系の資格では最も高い満足度を持つ。IT系の資格では、マイクログラフ認定(10位)や社会保険労務士(9位)も高い満足度を得ている。マイクログラフ認定は、IT系の資格では最も高い満足度を得ている。社会保険労務士は、IT系の資格では最も高い満足度を得ている。

2016年1月12日(火)日本経済新聞 朝刊より

“中小企業診断士”がトップに選ばれる理由とは？

単純労働が外国人労働者やITに奪われていく中、今企業が求めているのは経営コンサルタントといった企業の「課題解決力」や「論理的思考能力」をもった人材が求められています。そういったスキルを身に付けるにあたって適した資格である中小企業診断士が密かな人気となっています。

中小企業診断士資格取得者は、実は全国に約2万人存在します。受験者数は、平成17年度17,559名でしたが、平成25年度には21,837名と年々需要増です。中小企業診断士は経営コンサルタントの唯一の国家資格と言われており、学習内容は、経営戦略、組織・人事、マーケティング、財務・会計、製造管理、店舗運営、物流、経済学、IT、法務等と幅広く、ビジネスに関する幅広い知識やスキルを体系的に身につけることができます。これらの知識・スキルは、あらゆる業種・職種で役立つ、コンサルタントとしての独立や、経営企画、マーケティングのプロフェッショナルとしての就・転職など、将来の選択肢は無限に広がります。

資格ガイド | 試験制度

第1次試験					
試験実施日	8月上旬に実施<2日間>				
問題形式	マークシート形式による多肢選択式<四肢択または五肢択>				
合格基準	① 総点数による合格基準 全科目を受験し、総点数の60%以上であって、かつ1科目でも満点の40%未満の合格基準がないことを基準とし、試験委員会が相当と認めた得点比率とする。				
	② 科目ごとによる合格基準 科目ごとに満点の60%を基準とし、試験委員会が相当と認めた得点比率とする。				
合格の有効期間	●1次試験合格(全科目合格)の有効期間は2年間(合格年度とその翌年合格の年度まで2次試験を受験できる)。 ●1次試験の合格までの科目合格の有効期間は3年間(翌年度と翌々年度まで合格した科目を免除申請できる)。				
合格発表	9月上旬(ただし試験後翌日には協会から解答が発表されるため、翌日には合否が判明する)				
合格率	28.9%<受験者数 20,212人のうち合格者数 5,019人> [2022年度]				
科目	試験科目	配点	時間	科目合格率	内容
	企業経営理論	100点	90分	17.26%	経営戦略、人事・組織、マーケティング等
	財務・会計	100点	60分	13.32%	経営分析、意思決定会計、企業価値計算等
	運営管理	100点	90分	16.09%	生産管理、店舗運営管理、流通の基本等
	経済学・経済政策	100点	60分	10.54%	ミクロ経済、マクロ経済、経済動向等
	経営法務	100点	60分	26.85%	会社法、知的財産法、取引関連法規等
	経営情報システム	100点	60分	18.50%	経営情報管理、情報技術、開発、統計解析等
	中小企業経営・政策	100点	90分	10.90%	中小企業経営、中小企業支援の法律や施策等

第2次試験			
試験実施日	10月中旬~下旬<1日>		
問題形式	各設問15~200字程度の記述式(経営困難に陥っている会社の事例などが出題され、診断、アドバイスを論述します。)		
合格基準	筆記試験における総点数の60%以上で、かつ1科目でも満点の40%未満がなく、口述試験における評定が60%以上であることを基準とする。		
合格発表	1月上旬		
合格の有効期間	2次試験合格後、3年以内に実務従事・実務補習を受ける必要がある。		
合格率	18.7%<受験者数 8,712人のうち合格者数 1,632人> [2022年度]		
筆記試験	配点	時間	内容
	100点	80分	【事例Ⅰ】組織(人事を含む)を中心とした経営の戦略
	100点	80分	【事例Ⅱ】マーケティング・流通を中心とした経営の戦略
	100点	80分	【事例Ⅲ】生産・技術を中心とした経営の戦略
口述試験	受験資格	当該年度の2次筆記試験合格者 受験資格 ※口述試験を受ける資格は当該年度のみ有効であり、翌年に持ち越すことはできません。	
	試験実施日	1月中旬	
	問題形式	「中小企業の診断および助言に関する能力について、筆記試験の事例など 問題形式をもとに、個人ごとに面接(約10分間)」	
	合格発表	1月下旬	
実務補習	中小企業診断士実務補習は、中小企業診断士試験合格者を対象に、15日間の実習方式で実施します。 この実務補習は、1グループを受講者6名以内で編成し、指導員の指導のもと、実際に企業に対して経営診断・助言を行います。2企業に対して、現場診断・調査、資料分析、診断報告書の作成、報告会を行います。		
登録制度	中小企業診断士の登録有効期間は5年間で、登録を更新するためには一定の要件(中小企業診断士は登録期間内に論政策更新研修を5回受講する必要など)を満たす必要があります。		

なぜ本気で合格を志す者のみ募集なのか？

中小企業診断士は日本有数の難関資格であり、合格に最低限必要なレベルでも広範囲で深い知識と能力習得する必要があります。KEC は最短合格を目指しますが、難関試験に見合うだけの十分な知識と能力を着実に習得できるよう、あえて負荷の高いプログラムを開発しており、「本気で覚悟を決めた人」でなければ、その遂行は難しいと考えております。（内容が難しいという意味ではありません。）しかし、「本気で合格を志す覚悟を決めた人」には、最先端の科学的学習システムとプロフェッショナル講師陣による熱誠教育で全面的に支援します。

KEC 科学的学習システムでああなたの可能性を最大化！

KECの独自性は、様々な科学分野の知見から開発された「KECの科学的メソッド」「少人数双方向ライブ授業」「個別学習サポート」の3本柱で構成されており、受講生が持つ能力を最大化させ、最短合格へと導きます。

少人数
双方向
授業

個別
学習
サポート

KECの科学的メソッド

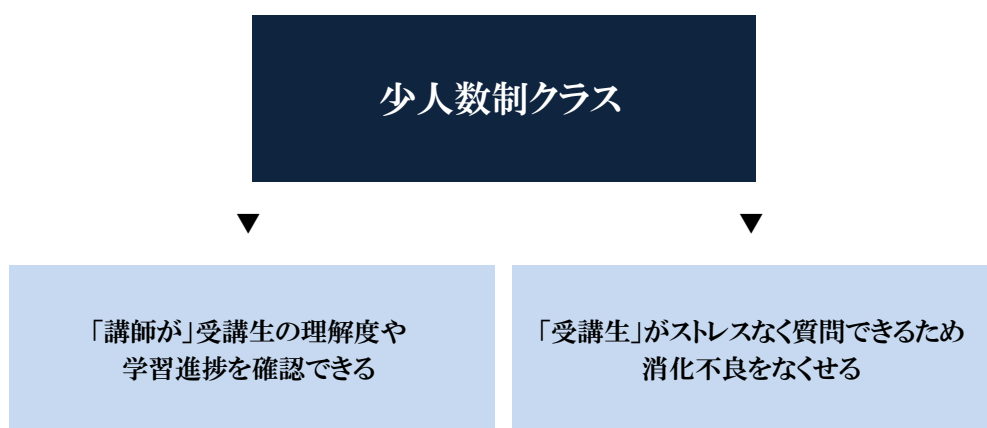
プロフェッショナル講師陣の熱誠指導

受講生の本気と覚悟

少人数双方向授業 | Interactive

“少人数制クラス”で一人ひとりに合わせた指導

少人数クラス編成を採用しています。少人数制を採用することで、講師が受講生の理解度や学習進捗を確認しながら、一人ひとりに合わせた指導ができます。また受講生がストレスなく質問できるため消化不良をおこすことなく学習できます。少人数制の授業は短時間でストレート合格を実現するためには欠かせない条件といえます。



“双方向授業”で「うわべだけの理解」から「本質的な理解」へ深化させる。

KEC はオンラインでも通学でも双方向の授業を行っています。合格のためには必ず学習した内容について考え、それをアウトプットする練習を行う必要があります。KEC では毎回の授業で双方向のコミュニケーションを行い、このプロセスを繰り返すことで学習内容を定着させ、応用力と短期に合格するための実力を身に付けることができます。



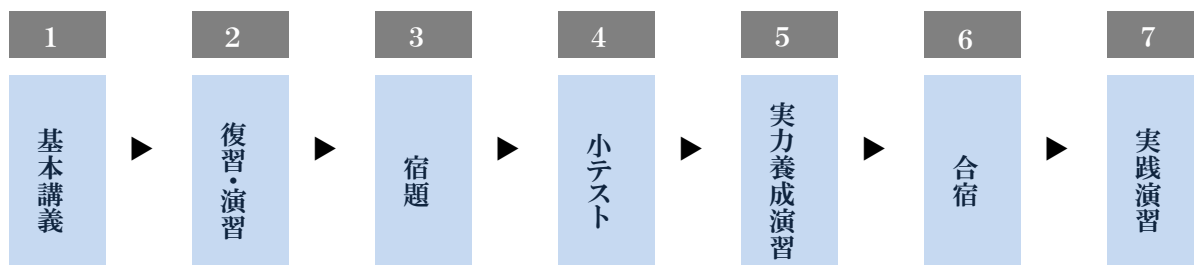
KECの科学的メソッド | 1次試験対策

“スパイラル式カリキュラム”でコア論点の100%の徹底理解

コア論点に限れば範囲は限定的のためコア論点を優先的に学習することで効率的に合格することができます。

KECのカリキュラム

重要項目についてはスパイラル式に7回以上繰り返し、各教科コアの部分については100%の理解を図ります。



1次試験は択一式であるため、確率論的に約20点は自動で得点できます。合格までの残り約40~50点分が出題頻度の高い定番コア論点です。

満点 100点	マニアック論点・超難問 約10点
合格点 60点	ニッチ論点 約30点
	コア論点 40~50点
	確率論的に得点出来る点数 20点

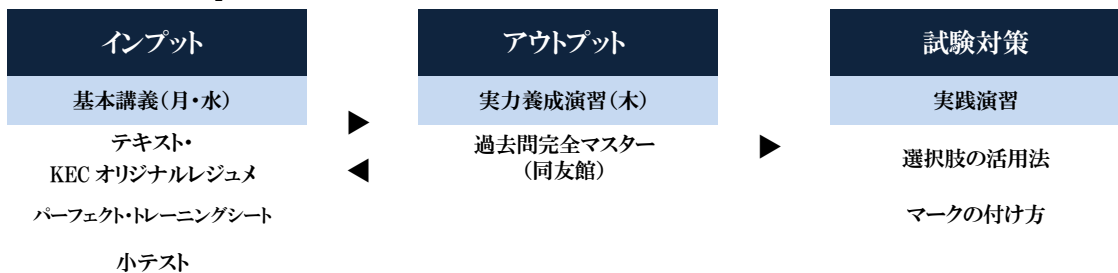
“高負荷トレーニング”で「つもり」学習から真に「できる」状態へ

「つもり」学習からの脱却を図るために、基礎力養成、実力養成と試験対策の3段階を踏むカリキュラムで構成しています。具体的には、文脈から正解がわからないように「パーフェクト・トレーニングシート」で1問1答や解法の手順も穴埋め問題にすることで論点の完全理解を図ります。

実力養成演習では、基本講義を2回終えるごとにその2回の学習範囲について1回実施します。**基本講義を受講した週（原則）に「すべての肢の正誤を判断させる負荷の高い演習」**を行うことで自分の理解が不足している部分が認識されるとともに記憶が強化されます。演習回数は他校の4倍近く実施します。

土台となる実力が付いた後、それを試験で得点できる実践力に転化するための試験対策を行います。具体的には、また「**選択肢の活用法**」や「**マークの付け方**」といった解答テクニック、過去の本試験問題を使用した演習の確認を行い、基本論点を暗記します。

[例：平日クラスの場合]



この3段階を経ることにより、実力という土台の上に、試験対策というスキルが身に付き、本試験レベルの応用問題にも対応可能な“本物の合格力”を身に付けることができます。

KECオリジナル パーフェクトトレーニングシート

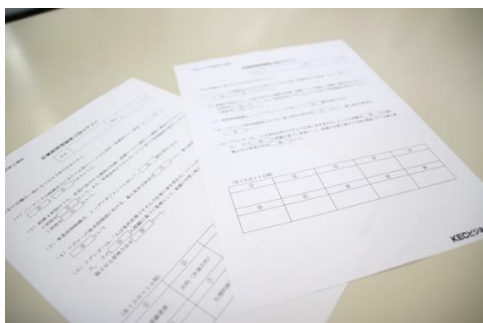


1

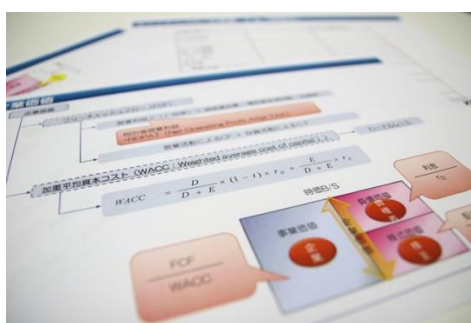
合格に必要なコア論点を網羅しているため、受験生は学習の範囲が明確になり、目標が定まることでモチベーションを維持できます。

2

穴埋め問題や一問一答などの負荷の高いトレーニングでコア論点を完全にマスターできます。



宿題・確認テストがある講座



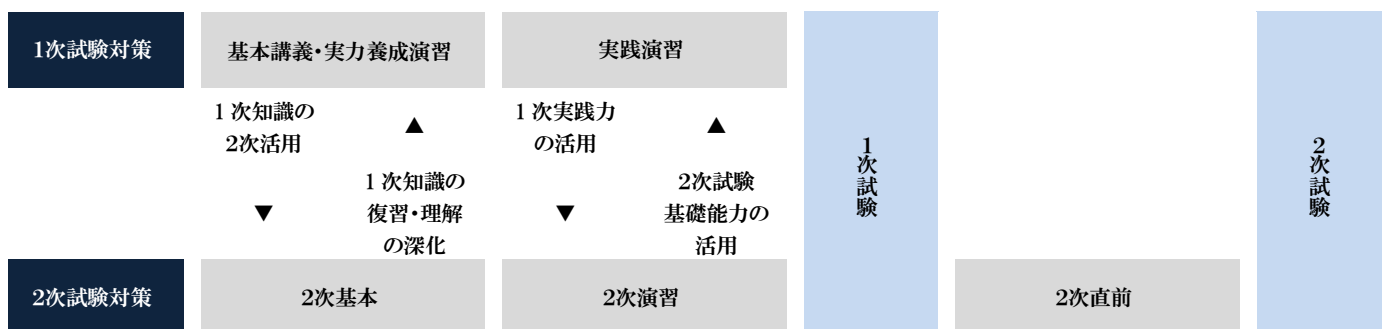
財務・会計は手厚く徹底的に

1次知識を2次試験に応用することで知識の理解が 深化する

1次・2次パラレル学習プログラム

KEC では、1次試験対策と並行して、早期から2次試験対策を行うことを提唱しています。1次試験対策の知識・スキルは2次試験に活用することができ、2次試験対策の学習を通じて1次試験対策の能力が向上するという相乗効果が発揮されるため、1次・2次ストレート合格の可能性が高まります。

中小企業診断士の学習は、1次試験にしてもかなり範囲が広いいため、2次試験対策が疎かになりがちです。よって、1次試験に合格した後からでは、2次試験対策の準備が間に合わず、2次試験合格の機会を失う方が多いです。また、1次試験対策と2次試験対策の学習が切り離されて行われるため、学習効果が低くなっている場合もあります。そこでKECでは「1次・2次パラレル学習プログラム」を開発し、1次試験対策と並行して早期から2次試験対策に取り組めるようカリキュラムを設計しています。1次試験までは「1次試験の知識を2次試験に応用する能力」やKECが提唱する2次試験の5大能力「読解力・思考力・記述力・知識力・計算力」の基礎力を徹底的に鍛えます。



1次試験の学習だけでも不安で大変な上に、早期から2次試験対策を行うことに懸念を抱く方もいらっしゃるかもしれませんが、2次試験対策の学習は1次試験対策の知識の復習になりますし、また知識を2次試験用に応用することで知識の理解も深まります。更に、2次試験で求められる5大能力「読解力・思考力・記述力・知識力・計算力」は1次試験にも役立ちます。1次・2次パラレル学習カリキュラムの相乗効果で、1次試験も2次試験も一気に突破しましょう!

そもそも、なぜ2次試験の対策が困難か？ その理由を考えよう

2次試験の衝撃事実

中小企業診断士 2次試験は 1次試験や他の国家試験と違って極めて特異な試験です。他の試験で予備校ごとで模範解答が異なることはまずありませんが、診断士 2次試験の模範解答は予備校ごとでバラバラです。しかし試験委員が受験生に解答してほしい内容は、一つだけです！さらに怖いことは設問単位で「0点」と思われる模範解答が出回っていることです。もし「0点」であることを見抜けない場合、合格が危うくなる非常に怖い試験です。

「メタ認知」の容易化が必要

「メタ認知」をごく簡単に表現すると、「自分で自分の置かれた状況を認識できるか」ということ。

1次試験の特長	2次試験の特長
① 答えそのものが明確—自分が間違っているかどうか確実にわかる。	① 答えそのものが不明確—自分が間違っているかどうかわからない。
② 答えに至るプロセスが明確—自分が理解しているかどうかわかりやすい。	② 答えに至るプロセスが不明確—自分が理解しているかどうかわかりにくい。
「メタ認知が容易」	「メタ認知が困難」

2次試験対策には、「メタ認知」を少しでも容易にするような学習メソッドを用いる必要がある。

「事例別フレームワーク」「合格答案 6 要件」「合格答案トライアングル」「知識応用フレームワーク」「間違いノート」「気づきノート」「担当講師による添削」等、2次試験対策 KEC オリジナルメソッドには「**いかにメタ認知を容易にするか**」という考え方が貫かれています。

「認知構造」の気付きと転換

人にはそれぞれの遺伝や環境、受けた教育により独自の「認知構造(思考のパターン)」を持っています。これは日々を効率よく生きるためにはある意味必須の能力(何か問題が起こる度に一から解決策を考えるならば日常生活は立ち行かないですですが、2次試験合格には障害になることも多くあります

例:①事例Ⅱ・Ⅲにも関わらず、事例Ⅰ的な考え方をしてしまう。

②何かの事象がある時に無意識に、悪い面(あるいは良い面ばかり)を注してしまう等

※学術的意味とはズレがあります。

しかも、この「認知構造」は自分では認識できないため何らかの手段で「**他人から指摘**」を受けたり「**他人と比較する**」必要があります。過去問徹底分析講座・過去問徹底演習講座における「ディスカッション」や「間違いノート・気づきノート」は「認知構造」の「気付き」と「転換」を促すことを意図しています。

2次試験対策には、「認知構造」の「気付き」と「転換」を促す学習メソッドを用いる必要がある。

“日本最大級・最先端”の2次試験対策を行います

「日本最大級」の講義演習回数

難関試験には難関試験なりのしっかりとした準備が必要です。ただ数が多ければ良いというものではありません。ですが、少なすぎる回数では実力向上は大変困難であると KEC は考えます。日本有数の難関試験の割に一般的な 2 次試験対策講座を見ると講座回数の絶対数が少ないように感じられます。しかし、一定品質以上の講義・演習を受けるならば、「数」は「力」に昇華します。KEC では 2 次試験対策講座としては日本最大級の「全 70 回の講義・演習」を実施し、受講生を一気に合格へ導きます。

「基礎能力」向上重視

中小企業診断士 2 次試験の合格を困難にしている理由の 1 つは、「知識力」「読解力」「思考力」「記述力」「計算力」という 5 大能力がバランスよく求められます。どれか 1 つでも欠けると合格が困難になるということが挙げられます。他校のカリキュラムを拝見する限り、基礎能力向上を図る講座は非常に少ない様に思います。多くの受験生と接していて感じることは、この試験の合否を分ける「知識力」「読解力」が極めて弱い(そもそも重要性を理解していない受験生がほとんどであるということです。いかに豪華な建築物でも土台が弱ければ崩れることは必定です。KEC では基礎力向上を図る指導を行っています。

「2次試験直前」まで講義演習を実施

2 次試験は 1 次試験と異なる独習の難しさがあります。1 次試験対策では直前期には時間の許す限り、ただひたすら暗記と問題・演習に打ち込めばよいのですが、2 次試験対策では一人での学習は困難であるばかりか、間違った方向に解法が進みかねません。一般的な予備校等のスケジュールを見るとほとんどが本試験 1 ヶ月前位に終了しており、もっとも重要かつ実力が伸長する試験直前の 1 ヶ月は学習者の自習に委ねられています。しかし、独学でこの時期に力をつけることはセンスのある人以外は至難の技です。

KEC では 2 次試験 1 週間前まで講義を実施し、直前まで受験生をサポートします。

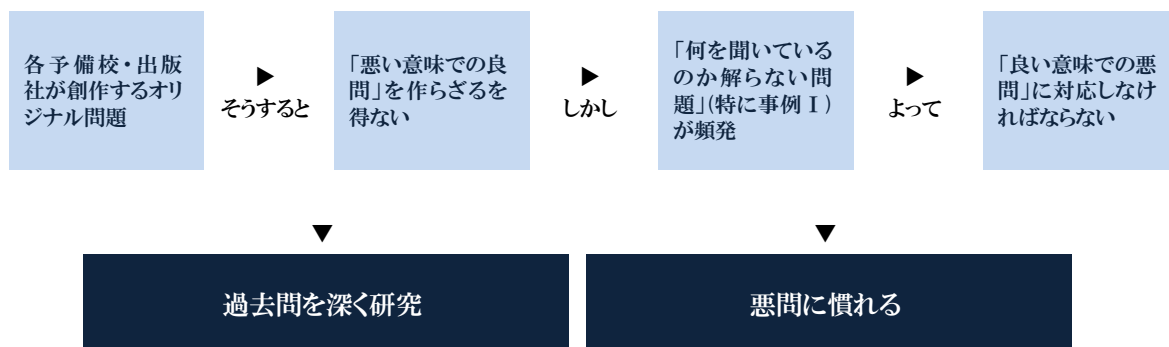
「KEC オリジナルフレームワーク」による解法

「KEC オリジナルフレームワーク」とは問題を解くに当たっての「一定の思考の枠組み」です。他校の解法を見るとフレームワークの使い方は様々でそれぞれの特徴があります。そもそもフレームワークを使用しない受験予備校も多くあります。また使用しても「事例共通」である学校もあれば「事例別」の学校もあります。KEC では事例ごと(事例 I~III)のフレームワークを他校にない形で使用します。KEC としては、事例によって「求められる答えに至る考え方が違う」以上それぞれの「事例に合わせたフレームワーク」が必要であると考えます。また基本的には「差別化された答案」を書くためというよりは「不合格とならない答案」を書くためのリスクマネジメント(守り)のために使用します。本試験では「異様な緊張状態」と「深い疲労」に襲われます。その時に使い慣れた「フレームワーク」は「論点落し」や「事例違い解答」といった大崩れ(俗に言う大事故を防ぐ)「強力な武器」になることは間違いないと自信を持っています。

KECの科学的メソッド | 2次試験対策

「過去問」重視の徹底

過去の試験問題の徹底的な研究は、どのような試験においても合格への最短ルートであり、中小企業診断士試験も同様です。もちろん、各予備校・出版社が創作するオリジナル問題を演習することも実力向上に繋がりますが、優先順位としては低いと判断します。なぜなら、オリジナル問題には本試験問題を超えられない壁が存在します。それは「説明責任」という壁です。本試験は解答について説明する責任がないため、いわゆる「何を聞いているのか解らない問題(特に事例I)」が頻発します。しかし予備校等の新作オリジナル問題は「論理的な説明責任」を負っているため、「悪い意味での良問」を作らざるを得ません。しかし、残念なことにはそれは本試験とは「似て非なる物」に過ぎません。本試験の「良い意味での悪問」に対応するためにはそれを「深く研究」し、「慣れる」しかありません。また、何度も過去問をやって「答えを覚えてしまっている」という方もいらっしゃいます。しかし、その覚えた解答は本当に正解なのでしょうか?単に今ある予備校や書籍の模範答案を覚えただけではありませんか?それは一番恐ろしい「解っているつもり」の可能性が大了。



「間違いノート」・「気づきノート」の作成

人は各自それぞれの間違いの型を持っています。はっきりと自分の「間違いの型」を認識し、それに対してのリスクマネジメントすることが重要です。

そのためには、

1. なぜそのエラーが起こったかの原因知識不足と件の読み落とし・設問の読み違い等を追究する
2. 「同じような間違いをしていないか」を確認する
3. 「どうすれば今後間違えないか」を考える

以上を繰り返すことにより自分の間違いの型を認識し、正しい方向に修正することにより「思考のベクトル」を合格の方向に合わせて行くことが可能となります。

また間違いでなくとも「自分の思考法では気がつかないような発想」に出会ったときや、「思考の盲点」に気付いたとき、その他何か気になった点があれば忘れないようメモしておくことは実力養成につながります。

KEC は2次試験の悩みに対しての解決策を知っています。

<お悩み1> 予備校により模範解答が全く異なり、何が正解か見極められない

2次試験は1次試験や他の国家試験と比べて極めて特殊です。その1つが正解が公開されておらず、各予備校の模範解答もバラバラであること。つまり自分が間違っているかどうか分からない、自分が理解しているかどうかわかりにくいという状態に陥ります。

[実力判定テスト]

下記の問題は、平成23年度事例Ⅰ第2問の各種予備校の模範解答例の要旨です。これだけ解答にバラツキがあります。しかし、出題者が意図する正解は1つだけです。あなたは自信を持って（理由を挙げて）選べますか？

[過去問題]

厳しい競争を展開している医療品業界にあって、新商品や新規技術の開発は極めて重要である。しかしそうした中で、A社では、自社開発した技術の特許をあげて出願しないこともある。その理由として考えられることを、100字以内で説明せよ。

【過去問】平成23年度 事例Ⅰ 第2問（配点20点）

[模範解答（各予備校）] 模範解答例

<A校>	<B校>	<C校>
理由は、事業多角化や新市場開発等の事業展開のスピードを優先するためと考えられる。具体的には大きく変化する経営環境の中、大学や研究機関と連携した商品開発や海外市場への進出の迅速化である。	理由は①特許申請や維持費用などの費用対効果が不透明、②技術をクロスする事による技術製品の優位性の確保、③大学や研究機関等との連携共同開発のため自社独占の特許申請が難しい事が考えられる。	特許出願をすると出願情報が公開される。法や規制の異なる外国でこれを模倣された場合、その損害は回復が著しく困難、または不可能になる。ブラックボックスにしておけばその心配はない。

<KECの解決策> 「トリプルループ思考」で思考力を向上させることで解決

KECでは①受講生同志のディスカッション及び講師直接の添削による思考の偏りや間違い、知識不足に対する気付きの促進、②トリプルループ思考、③間違いノートや気づきノートによるセルフチェックのしやすさを考慮したメソッドの指導で思考力を向上させる訓練を行います。

KEC の科学的メソッド | 2次試験対策

<お悩み2> 出題の意図(問題が何を尋ねているのか)が読み取れない

2次試験は出題者の意図を読む必要があります。また出題者が伝える与件文のメッセージ、設問文の制約条件やヒントを理解する必要があります。でなければ単なる思いつきの解答になってしまいます。

[実力判定テスト]

あなたは下記の設問文だけを読んで、試験委員は何の分野について「解答として書いてはいけない」というメッセージを伝えていると考えられるか、根拠となる部分を指摘の上、理由とともに挙げられますか？

[過去問題]

A社がF社を傘下に収めた結果、買収されたF社の従業員に比べて、買収したA社の従業員のモラルが著しく低下してしまった。両社の人事構成を踏まえた上で、その理由について、100字以内で述べよ。

【過去問】平成21年度 事例I 第3問

<KECの解決策> 「事例別・認知フレームワーク」「与件読解のための13のヒント」で読解力を向上させることで解決

初めて2次試験を受けられる方は、設問文を読んでなんとなく思いつきで解答を書かれる方がほとんどです。しかし、実際には設問の裏に、出題者が答えてほしい答案のヒントが隠されています。KECではそういった出題者の意図をしっかりとらえるための「事例別フレームワーク」「与件読解のための13のヒント」で出題者の意図を理解する訓練を行います。

<お悩み3> 出題の意図はわかるが、解答の方向性が思い付かない

2次試験の知識は、1次知識を①完全確実・瞬時に引き出せ、②深く応用できるかが求められます。マークシート試験である1次試験に合格しただけで知識は十分身に付いていると考えることは大きな勘違いです。

[実力判定テスト]

あなたは下記の問題を完璧に速答できないと極めて危険！

[過去問題]

高いモチベーションと仕事の成果を上げるためにあるべき5つの職務特性を挙げ、それを活性化するための方策を答えよ。

<KECの解決策> 「知識応用ロジックツリー」で知識応用力を向上させることで解決

1次試験で学習した知識（特に企業経営理論・財務・会計・生産管理）を現実に応用できるかを試すのが2次試験です。KECでは1次知識を確実に素早く、応用できるように各事例ごとにまとめた「知識応用ロジックツリー（約100種類）」を使って、確実・瞬時に1次知識を引っ張り出す訓練を行います。

KECの科学的メソッド | 2次試験対策

<お悩み4> 何となく解答は思い浮かぶが、解答を文章に落とし込めない

日常のビジネスでは、文書作成はパソコン等で行うことが多く、しかも既存文書のコピー&ペーストや修正になりがちです。そのため記述に苦手意識のある方は多くいらっしゃいます。しかし、2次試験は、出題者との接点は文章のみですので、しっかりした準備が必要です。

<KECの解決策> 「コンテンツライアングル」による記述力を向上させることで解決

KECでは、合格答案には基本的に3つの要素、①与件文、②設問文、③1次知識が入ると考えています。その3つの要素がどのように組み合わせるのかを過去問を通してトレーニングしていきます。

<お悩み5> 本番で速く正確に計算できない

4限目に行われる事例Ⅳは「異常な精神状態」と「心身の疲労困憊」と悪条件で複雑な計算を行う必要があり、財務・会計が得意な受験生でもミスを生発するため、その備えを行う必要があります。

[実力判定テスト]

あなたは下記の問題を5分で正確に解けないと極めて危険！

[計算問題]

以下に示すKECゼネラルフーズ(株)の当期データより設問に答えよ。(単位:千円)

変動費率:40%(変動費のうち、販売費及び一般管理費が10%、他はすべて売上原価) / 固定費(売上原価・販売費及び一般管理費):12,000 / 支払利息:1,000 / 受取配当金:2,000 / 実効税率:40% / 安全余裕率(営業利益ベース):20%なお、以上の条件以外は一切考慮する必要はない。

他の条件を変えずに(変動費率と安全余裕率は変動する)税引き後利益4,200千円を達成するためには変動売上原価を当期に比べいくら(金額)下げる必要があるか?ただし、変動費のうち、販売費及び一般管理費は当期と同額である。

<KECの解決策> 「フレキシブルボックス」で計算力を向上させることで解決

「疲労困憊」かつ「異常な精神状態」のもとで限られた時間内で速く正確に行う。これはとてつもない難行です。KECでは「①フレキシブルボックス(以下FB)※を使い、最悪の心身状態でも一定の力が出せる方法」「②呼吸法等、頭に血が上るような時でも最小限のダメージにとどめる方法」を指導します。

[CVP分析のFB表]

売上			
-変動費			
=限界利益			
-固定費			
=営業利益			

CVPの問題を解く時に使うFBです。2次試験ではCVPは複雑な問題が多く、緊張した本番ではミスが多発します。どのような問題がきてもこのテンプレートを使って問題を解くことによりミスの危険を最小限にします。

※ フレキシブルボックスとは与えられたデータを予め用意したボックスに埋め込み、決まった手順で計算することでミスを減らすKEC独自のメソッドです。

オンライン・バーチャル・スクール

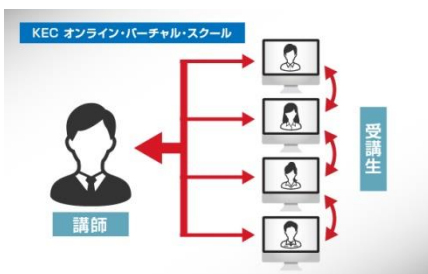
双方向ライブ授業がどこでも！ オンライン双方向授業で確実な合格を実現

KEC 中小企業診断士講座・オンライン・バーチャル・スクールでは、最先端のオンライン・コミュニケーション・システムにより従来のリアルな校舎で行われていた「双方向」授業をオンライン上で再現。オンライン上での「講師と受講生との双方向コミュニケーション」「受講生間でのグループワークや実践演習」「個別学習コーチング」を実現することで、受講生を確実な合格へと導きます。

オンライン双方向授業で合格レベルの本質的理解を可能に

最短合格のための科学的学習メソッド

オンライン個別学習コーチング



オンライン双方向授業とWEB通信の違い

	オンライン双方向授業	WEB通信
配信方法	ライブ配信	録画配信
講義スタイル	双方向型	一方的型
受講スタイル	主体的	受動的
理解度	本質的な理解	うわべだけの理解
集中度	高い	低い
質問	授業中質問可	授業中質問不可

個別学習サポート体制 | Support

合格の最大の敵は「諦め」。しかし、この克服が何より困難なことも事実です

KEC では、受講生に個別学習カウンセリングで、「学習計画の立案」「学習計画の実現」「学習進捗の確認・改善」を支援します。KEC の講師陣は合格するための目指すべきゴールを知っています。ただし、受講生の状況はそれぞれ異なりますので、現状をヒアリングします。ゴールと現状が分かれば、後はそのギャップを埋めるだけです。そのための計画を講師と受講生が共同で策定します。また、その計画を実行するための学習方法や学習ツールの使い方までを丁寧に指導します。

PLAN

KEC オリジナル学習管理ツールを用いて、受講生一人ひとりの状況に合わせた「学習計画の立案」をサポートします。

CHECK ACTION

受講生のライフスタイルを基に学習スタイルを提案し、「学習計画の実現」に向けた日々の取り組みについてアドバイスします。

DO

定期的に「学習進捗の確認・改善」を行い、遅れが発生している場合には、計画や学習スタイルの見直しを行います。

過去受講生の学習計画表

一人ひとりいつでもバックアップ

KEC では個別学習プロジェクトが順調に遂行されるよう受講生一人ひとりに合わせたバックアップ体制があります。

いつでも質問

非常勤講師が主体の受験予備校では講座時間外の質問対応が疎かな場合があります。KEC では講師が職員として原則常駐しているため、分からなければ分かるまで徹底的に質問に答えます。

※オンライン・バーチャル・スクールの受講生の方はお電話、メールにて講師がご質問等に答えます。

WEB 補講

欠席した場合は、講義を録画したWEBで補講することができます。忙しい方は、授業に参加できない日もあると思いますが、ご安心ください。WEB 映像を見て、分からない点はもちろん質問にお答えします

自習室

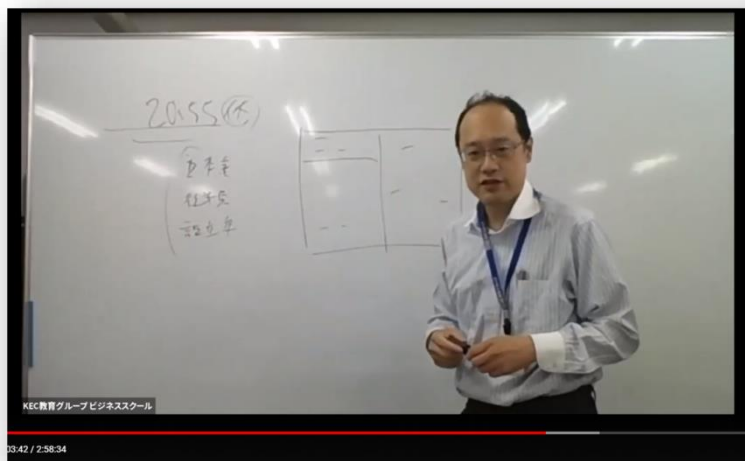
KEC 校舎の自習室を無料で利用して頂けます。他の真剣な受講生の中に身を置くことにより「やる気」と「集中力」がアップします。また、自習して分からない点が出てきた場合も、いつでも質問にお答えします。

個別学習サポート体制 | Support

様々なバックアップ体制で効率的・効果的に学習ができる環境がある。

WEB 補講

KECのWEB補講は講義の出席の有無に関わらず配信いたします。よって万が一平日・週末クラスの講義を受講できなかったとしても **KEC では講義を逃すことはありません。** ライブ講義が終了した約2~4営業日後に、ライブ講義を収録した映像をグーグルドライブに動画リンクをアップいたします。原則平日クラス、週末クラスのどちらかの収録映像をアップいたします。



グーグルドライブでレジュメ(PDF)のダウンロード・閲覧が可能

KECではいつでもどこでも学習していただけるように、配布したレジュメをグーグルドライブより閲覧・ダウンロードが可能です。それにより、外出先や通勤など冊子を持ち歩くことなく学習していただけます。



※WEB補講・グーグルカレンダー・グーグルドライブの共有を受ける際 Gmail の取得（無料）が必要になります。

選べる受講方法 | flexible

KEC なら「通学」と「オンライン・バーチャル・スクール」と「WEB 補講」のフレキシブル受講が可能！

KEC の受講システムでは、通学、オンライン・バーチャル・スクール、WEB 補講の受講形態からあなたのライフスタイルや学習状況に合わせて最適な受講形態をお選びいただけます。例えば、忙しい社会人の方や、生活が不規則な方、遠方の方や諸事情により通学が難しい方は、オンライン・バーチャル・スクール、WEB 補講で受講することができます。オンライン・バーチャル・スクールで受講の方でも、ライブ講義同様の双方向講義を受講することが可能です。例えば苦手な分野やわからないところは講師に直接質問することで理解を深めることができます。他にも通学で授業を欠席された場合、WEB で補講(無料)することができます。

通学スタイル

東京・新宿本校、大阪・梅田本校に通っていただくスタイルです。集中できる環境で学習をしたい方におススメです。

- ・ 学習のペースがつかみやすい、日程表に従った通学スタイル
- ・ 疑問点は直接講師へ即質問、即解決で学習時間の節約になる
- ・ 忙しい人にも安心の充実した **WEB 補講制度 (無料)**
- ・ 平日・週末クラスの**振替自由制度**※
- ・ 東京・新宿本校、大阪・梅田本校の**校舎間による振替も自由**
- ・ 受講生同士のネットワーク形成ができる
- ・ 自習室の利用が可能。他の真剣な受講生の中に身を置くことにより「やる気」と「集中力」がアップ
また自習して分からない点が出てきた場合も、いつでも質問が可能

※片方のクラスが満席になる場合には、振替ができなくなる可能性があります。予めご了承ください。

※東京・新宿本校の通学は週末クラスのみとなります。ただし 2 次直前合格コースは平日・週末クラスを実施します。

オンライン・バーチャル・スクール／WEB 補講スタイル

自宅や外出先で KEC の講義が受講できるスタイルです。マイペースで学習されたい方、遠方であることや事情により通学が困難な方におススメです。

- ・ オンライン会議システム (zoom) を利用して学習するスタイルで、KEC の特徴である双方向ライブ授業を体感していただくことで、ライブ講義と同様の形で受講することが可能
- ・ WEB 補講は実際のライブ講義を収録した映像をストリーミング配信するので、都合に合わせて 24 時間いつでもどこでも臨場感溢れる講義を受講することが可能
- ・ KEC の WEB 補講の特長は実際にライブ講義を収録したもの
- ・ 質問も E メール、電話(予約制)などのできるので安心して受講できる

■動作環境 ※動画を見るには、以下の環境が必要です。

・Adobe Flash Player・Google Chrome、Firefox、Internet Explore、Safari、または Opera・500 Kbps 以上のインターネット ※動作環境を満たした端末であっても、端末の仕様もしくは他のソフトとの兼ね合い等によりご利用いただけない場合がございます。

また、動作していても、その後の各ソフトウェアのインストールや OS のバージョンアップなどにより受講いただけない場合がございます。

※端末に起因する不具合や、各メーカーのサポートを受けられない端末につきましては、KEC ではサポートいたしかねます。予めご了承ください。

Course Guide

コースのご案内 | カリキュラム

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	8月
A	1次対策 33回						
A1	基本講義(3科目:法・情・中) 18回				A4	実践演習(3科目)6回	
A2	実力養成演習(3科目:法・情・中)9回						

2023・1次試験(3科目受験)

初学者コース はじめて学習される方

	フェーズ	A1	A2	A3	A4	B1	B2	B3	B4	C1	C2	D1	D2	OP	回数
1次合格コース	A ※A2除く	○		○	○										70
1次マスター合格コース	A	○	○	○	○										97
1次・2次ストレート合格コース	AB ※A2除く	○		○	○	○	○	○	○						96
1次・2次ストレート合格 マスターコース	AB	○	○	○	○	○	○	○	○						123
1次・2次ストレート合格 パーフェクトコース	ABCD	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		167
1次・2次ストレート合格 プレミアムコース	ABCD	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全講座

経験者コース 学習経験者のある方

1次上級コース	A ※A1A3除く		○		○										41
1次・2次上級コース	ABCD ※A1A3除く		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		111

2次専科コース 2次試験対策の学習をされる方

2次直前合格コース	BD					○	○※		○※			○※	○		42
2次パーフェクト合格コース	BCD					○	○	○	○	○	○	○	○		70

※WEB 受講になります。

コースのご案内 | カリキュラム

9月 ~ 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月

A	1次対策 64回												
A1	基本講義(4科目:企・財・運・経) 36回						A4	実践演習(4科目)8回					
A2	実力養成演習(4科目:企・財・運・経) 18回												
A3	財務速答 2回												
B	2次基本 26回												
B1	2次基礎スキルマスター 2回				B2	ロジックツリー演習 6回							
				B3	2次基礎能力実践 10回								
								B4	2次解法マスター 8回				
C	2次演習18回												
C1	計算能力強化 9回												
								C2	過去問徹底分析 9回				

2024・1次試験(4科目受験)

初学者コース はじめて学習される方

	advantage	disadvantage
1次合格コース	1次試験の基礎的な内容から始め、1次試験合格に集中できる。	1次対策演習がないため応用力がつきにくく、2次対策の学習が含まれていないため、1次試験合格後の2次試験対策がタイトになる。
1次マスター合格コース	基礎力からじっくり鍛えられ、負荷の高いトレーニングと実践的な演習で1次試験対策を盤石なものにできる。	2次対策の学習が含まれていないため、1次試験合格後の2次試験対策がタイトになる。
1次・2次ストレート合格コース	1次試験の基礎的な内容から2次試験の基礎スキルまでを習得し、一気にストレート合格を目指す。	1次対策の演習がないため応用力がつきにくい。
1次・2次ストレート合格マスターコース	基礎力からじっくり鍛えられ、負荷の高いトレーニングと実践的な演習で1次試験対策を盤石なものにできる。また並行して2次試験の基礎的な学習ができる。	2次対策の応用力の養成に若干不十分になる。
1次・2次ストレート合格パーフェクトコース	基礎力からじっくり鍛えられ、負荷の高いトレーニングと実践的な演習で1次試験対策を盤石なものにできる。また2次対策についても万全の準備を行える。	日本最大級の講義・演習回数を誇っているため、スケジュール的にはハードとなる。
1次・2次ストレート合格プレミアムコース	パーフェクトコースにすべてのオプション講座(約140時間)が付いている「全講座受け放題」のコースである。	パーフェクトコース同様、スケジュール的にはハードになる。

経験者コース 学習経験者のある方

1次上級コース	要点整理と高負荷トレーニングで実力養成した後、本試験過去問題演習で実践力を身に付け、1次試験の突破を図る。	2次対策の学習が含まれていないため、1次試験合格後の2次試験対策がタイトになる。
1次・2次上級コース	1次試験対策を行いながら、2次試験対策についても万全の準備で行える。	1次試験対策の基礎的な理解が不十分になる可能性がある。

2次専科コース 2次試験対策の学習をされる方

2次直前合格コース	1次試験の合格を確認してから2次試験対策を始めることができる。	8月から一気に2次対策を始めるため、スケジュール的にはハードになる。
2次パーフェクト合格コース	早期に2次対策に集中することができ、スケジュール的にも落ち着いて取り組みことができ、万全の準備で行える。	1次対策を含まないため、1次知識が不十分になる可能性がある。

コースのご案内 | カリキュラム

9月

10月

B 2次基本 16回

B1 2次基礎スキルマスター 2回

B2 ロジックツリー演習 6回(WEB)

B4 2次解法マスター 8回(WEB)

D 2次直前 26回

D1 事例IV徹底攻略 11回

D2 過去問徹底演習 15回

2024・2次試験

コースのご案内 | 受講料

※各コースの最少開講人数：5名 ※受講料はテキスト代込です。 ※別途入学金 15,000円（税込 16,500円）が必要になります。

初学者コース はじめて学習される方

	フェーズ	期間	教育訓練給付金 対象講座	受講料	回数	時間数
1次合格コース	A ※A2除く	2023・02 - 2024・7	-	198,000円※1（税込 217,800円）	70	172.5
1次マスター合格コース	A	2023・02 - 2024・7	★	248,000円（税込 272,800円）	97	242.5
1次・2次ストレート合格コース	AB ※A2除く	2023・02 - 2024・7	-	248,000円※1（税込 272,800円）	96	241
1次・2次ストレート合格 マスターコース	AB	2023・02 - 2024・7	-	298,000円（税込 327,800円）	123	308.5
1次・2次ストレート合格 パーフェクトコース	ABCD	2023・02 - 2024・10	★	368,000円（税込 404,800円）	167	418.5
1次・2次ストレート合格 プレミアムコース	ABCD	2023・02 - 2024・10	★	448,000円（税込 492,800円）	全講座	611.5

※1 過去問完全マスターのテキストは付いていません。

経験者コース 学習経験者のある方

1次上級コース	A ※A1A3除く	2023・02 - 2024・7	★	120,000円（税込 132,000円）	41	102.5
1次・2次上級コース	ABCD ※A1A3除く	2023・02 - 2024・10		280,000円（税込 308,000円）	111	278.5

2次専科コース 2次試験対策の学習をされる方

2次直前合格コース	BD	2023・08 - 2023・11	★	122,500円（税込 134,750円）	42	106
2次パーフェクト合格コース	BCD	2023・02 - 2023・10	★	247,500円（税込 272,250円）	70	176

カスタマイズ受講

いかなる「コース」「講座」「科目」も自由に組み合わせて受講いただけます。

中小企業診断士試験の特色に、科目合格制度がある上に科目自体が経営はもとより財務、経済から法務、情報まで極めて広範囲に及ぶことが挙げられます。各人の能力や合格科目により求められる講座の内容も変化するのは当然です。KEC では様々な受講生のご要望に真摯にお答えし、一人ひとりのご事情に合わせた最適なカリキュラムを受講料と合わせてご提案致します。

コースのご案内 | オプション講座

KEC では受験生が苦手としやすい弱点ポイントを効率よく克服して頂くため、下記の方針に基づき特別講座をご用意しております。弱点を残すことは、全科目の足を引っ張り、足切りのリスクも高まるため、合格に向けて大変な不利となります。弱点を克服し、合格を勝ち取りましょう！KEC 生以外の方も大歓迎です！

“通常の講義よりも徹底的に指導”

弱点ポイントは人により異なります。通常講義よりもさらに不得意な方々向けに、ポイントを絞ってより丁寧に徹底的に指導することで、弱点を克服して頂きます。

“得点につながるポイントに限定”

あくまで合格が目的です。いくら学習しても得点につながらない論点は扱いません。短時間の学習で効率的に得点できる論点をマスターして、弱点ポイントを得点源に変えてください。

“食わず嫌いを克服”

ニッチ分野（経営法務の英文問題や、経営情報システムの統計など）は勉強がおろそかになりがちで苦手意識を持つ方が多いです。しかし学習してみると意外と難しくなく、論点もニッチが故にそれ程深くないため、得点しやすい分野があります。ニッチ分野の食わず嫌いを克服し、ライバル達をリードしましょう。

	科目	講義時間	一般生価格	コース生価格
年末集中特訓合宿(企・財)	2科目	19時間	24,750円(税込27,225円)	19,800円(税込21,780円)
簿記基礎マスター講座(財)	財務・会計	7.5時間	12,250円(税込13,475円)	9,800円(税込10,780円)
GW 勉強漬け合宿	7科目	66.5時間	86,250円(税込94,875円)	69,000円(税込75,900円)
1次ラストスパート合宿	6科目	57時間	78,250円(税込86,075円)	67,100円(税込73,810円)
英文契約&国際取引マスター講座	経営法務	6時間	8,000円(税込8,800円)	6,400円(税込7,040円)
統計解析マスター講座	運営・情報	7.5時間	8,000円(税込8,800円)	6,400円(税込7,040円)
事例IV徹底強化合宿	1科目	15時間	24,750円(税込27,225円)	19,800円(税込21,780円)
与件設問読解強化演習	1科目	7.5時間	12,250円(税込13,475円)	9,800円(税込10,780円)
2次実力養成模擬試験 5月	4科目	10時間	24,750円(税込27,225円)	19,800円(税込21,780円)
2次実力養成模擬試験 7月	4科目	10時間	24,750円(税込27,225円)	19,800円(税込21,780円)
2次実力養成模擬試験 10月	4科目	10時間	24,750円(税込27,225円)	19,800円(税込21,780円)
計	-	216時間	328,750円(税込361,625円)	267,500円(税込294,250円)

※コース生の受講料は教材費込です。

※オプション講座の内容・時期・金額については、変更の可能性がございます。また最少催行人数に満たない場合は不開講になります。その場合はWEB受講になります。

まずは無料個別ガイダンスにご予約ください

一人ひとりの方々の状況に合わせて、中小企業診断士の講師が個別にご説明いたします。
キャリアや勉強方法などのご相談もお受けいたします。お気軽にお越しください。



コースのご案内 | 開講日程:1次・2次本科コース

2024年合格目標 2月開講

東京・新宿本校(ライブ・オンライン)

大阪・梅田本校(ライブ・オンライン)

平日クラス	—	2/13(月)19:00~21:30
週末クラス	2/25(土)10:00~19:00	2/18(土)10:00~19:00

ご予約方法

☎ : <http://www.kec.ne.jp/shindanshi/> / ☎ : 0120 - 033 - 368

アクセス

📍 : オンライン・バーチャル・スクール 従来のリアルな校舎で行われていた「双方向」授業をオンライン上で再現

📍 : 東京・新宿本校 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7丁目18-20 ルミエール西新宿ビル2階

■JR 新宿駅西口よりお越しの場合

JR 新宿駅西口から地下鉄大江戸線 新宿駅西口の方向へ進み、途中のB14出口から地上に出ると、前方にビックカメラが見えます。そのまま小滝橋通を北へ進みます。青梅街道と大ガードの交差点を過ぎ、1つ目の信号まで来ると左手に「すき家」の看板が見えます。その交差点を横断し、柏木公園前に行く

■地下鉄大江戸線よりお越しの場合

地下鉄大江戸線 新宿駅西口D5出口から地上に出て小滝橋通を北へ進みます。1つ目の信号まで行くと左手道路向かいに「すき家」の看板が見えます。その交差点を横断し、柏木公園前に行く、左手にマイステイズホテル、前方正面にファミリーマートの看板が見えます。その右隣がKECです。

📍 : 大阪・梅田本校 〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-6-12 小学館ビル6階

最寄駅 : 地下鉄西梅田駅・JR北新地駅より徒歩3分 / JR大阪駅より徒歩8分 / 京阪渡辺橋駅より徒歩10分

■地下鉄四ツ橋線 西梅田駅/JR東西線 北新地駅よりお越しの場合

1.地下鉄四ツ橋線の西梅田駅・JR東西線の北新地駅の9番出口を地上へ上がります。

2.桜橋交差点に出ますので、2号線沿いに西に進みます。

3.目の前の大きい幹線道路(国道2号線)沿いに、高架(阪神高速)を目指してまっすぐ進みます。

4.高架の手前まで進むと、左手に「小学館ビル」がございます。その6階がKECビジネススクール事務局です。

コースのご案内 | Information

※各コースの曜日・時間帯は原則であり、例外があります。 150分/回（途中休憩あり） B1：2次基礎クラスのみ180分/回

校舎	プログラム	講座記号	クラス	曜日	時間帯
東京・新宿本校 (ライブ・オンライン) 週末クラスのみとなります。 ※1 2次直前合格コースのみ 平日・週末クラスを実施します。	1次対策	A1	—	月・水	—
		A2		木	
		A3		火・金	
		A4		月・木	
		A1	週末	土	10:00~16:00
		A2		土	16:30~19:00
		A3		日	10:00~16:00
		A4		土	
	2次対策	B・C・D	平日※	火・金	19:00~21:30
		B・C・D	週末	日	10:00~19:00
大阪・梅田本校 (ライブ・オンライン)	1次対策	A1	平日	月・水	19:00~21:30
		A2		木	
		A3		火・金	
		A4		月・木	
		A1	週末	土	10:00~16:00
		A2		土	16:30~19:00
		A3		日	10:00~16:00
		A4		土	
	2次対策	B・C・D	平日	火・金	19:00~21:30
		B・C・D	週末	日	10:00~19:00

※2 講座スケジュールについては、[Googleカレンダー](#)にて共有いたします。PC・スマートフォン等でいつでもどこでも講座スケジュールが確認できます。

コースのご案内 | フェーズ・講座

A:1次対策 97回				B:2次基本 26回				C:2次演習 18回		D:2次直前 26回	
A1	A2	A3	A4	B1	B2	B3	B4	C1	C2	D1	D2
54回	27回	2回	14回	2回	6回	10回	8回	9回	9回	11回	15回
基本講義	実力養成演習	財務速答	実践演習	2次基礎 スルマスター	ロジック 演習	2次基礎能 力実践	2次解法 マスター	計算能力 強化	過去問 徹底分析	事例IV 徹底攻略	過去問 徹底演習

A 1次対策

すべての基礎となる1次知識・スキルをしっかりと習得します。

A1

基本講義

初めて学習する方を想定し基礎からの丁寧な解説を行います。KECのインタラクティブな講義の中から判明した受講生が誤解をしやすいところや重要論点については講義中に何度も質問を投げかけながら講義を進めていきます。大手予備校で多く見られる、講師が一方向的に話す講義と違いKECの「いつ質問が来るかが予測できない講義」は集中の度合いが全く異なります。このことが「理解の深さに直結する」ことはもちろん、質問に対し真剣に考えることを繰り返すことが「思考力向上のトレーニング」となり応用力の養成にもつながります。また、コア論点は当該講義内で即座に復習するとともに、次の科目に変わってもその変わった科目内でも復習し記憶の定着の徹底を図ります。一方的な講義や教科書の棒読みなら通信講座でも同じです。KECの基本講義は通学してライブ講義を受講することの利点を最大限に生かすように設計されています。

[学習例]

基本講義でインプット



WEB補講・パーフェクト・
トレーニングシートで復習



小テストで理解度の確認

A2

実力養成演習

原則的に、基本講義を2回終わるごとにその2回の学習範囲について「過去問完全マスター（同友館）」を使用して実施します。基本講義を受講した週に「すべての肢の正誤を判断させる負荷の高い演習」を行うことで自分の理解が不足している部分が認識されるとともに記憶が強化されます。また、カリキュラムに従い計画的に復習をすることになりますので、初心者に起こりがちな「講義についていくのに必死で復習を疎かにする」危険を強制的に回避します。

[例：平日クラスの場合]

A1:基本講義①
月曜日



A1:基本講義②
水曜日



A2:実力養成演習①
木曜日

	A1	A2	A3	A4
	基本講義	実力養成演習	財務速答	実践演習
企業経営理論	10回	5回	-	2回
財務・会計	10回	5回	2回	2回
運営管理	8回	4回	-	2回
経済学・経済政策	8回	4回	-	2回
経営法務	6回	3回	-	2回
経営情報システム	8回	4回	-	2回
中小企業経営・政策	4回	2回	-	2回
計	54回	27回	2回	14回

コースのご案内 | フェーズ・講座

A:1次対策 97回				B:2次基本 26回				C:2次演習 18回		D:2次直前 26回	
A1	A2	A3	A4	B1	B2	B3	B4	C1	C2	D1	D2
54回	27回	2回	14回	2回	6回	10回	8回	9回	9回	11回	15回
基本講義	実力養成演習	財務速答	実践演習	2次基礎 スルマスター	ロジックツリー 演習	2次基礎能 力実践	2次解法 マスター	計算能力 強化	過去問 徹底分析	事例IV 徹底攻略	過去問 徹底演習

A 1次対策

すべての基礎となる1次知識・スキルをしっかりと習得します。

A3	財務速答	1	「速算スキル」を伝授 電卓が使えない状態での計算速度の向上を図る「速算」のメカニズムを理解
		2	「選択肢利用テクニック」を伝授 問題の選択肢を徹底して利用するテクニック及び、その他本試験で役立つテクニックを理解
		3	「財務速答スキル」をマスター 本試験問題演習を通じて、「速算スキル」「選択肢利用テクニック」を習得し、「財務速答スキル」をマスター
A4	実践演習	GW 後から開始します。実力のある受験生ですべての問題がわかる人はいません。必ず正解を見つけるのが困難な問題に遭遇します。この講座では重要論点の復習と共に難問奇問に直面した場合にも少しでも正解に近い選択肢に近づくためのテクニックを学習します。当然学習の初期からテクニックに走ることは避けるべきです。しかし、本試験では実力で取った4点もテクニックで取った4点も価値は同じです。KECでは1問でも多く稼ぎ取るための実践的な技術についても丁寧に解説します。	

まずは無料個別ガイダンスにご予約ください

一人ひとりの方々の状況に合わせて、中小企業診断士の講師が個別にご説明いたします。
キャリアや勉強方法などのご相談もお受けいたします。お気軽にお越しください。



コースのご案内 | フェーズ・講座

A:1次対策 97回				B:2次基本 26回				C:2次演習 18回		D:2次直前 26回	
A1	A2	A3	A4	B1	B2	B3	B4	C1	C2	D1	D2
54回	27回	2回	14回	2回	6回	10回	8回	9回	9回	11回	15回
基本講義	実力養成演習	財務速答	実践演習	2次基礎対策マスター	ロジックツリー演習	2次基礎能力実践	2次解法マスター	計算能力強化	過去問徹底分析	事例IV徹底攻略	過去問徹底演習

B 2次基本

2次試験対策の基礎力となる「1次試験知識を2次試験で活用する能力」と「読解力」「思考力」「記述力」を習得します。

- 5つの能力の内3つの基礎力を養成 -



【ねらい】

KECは、2次試験合格には「知識力」「読解力」「思考力」「記述力」「計算力」の5つの能力を過不足なく有ることが必要であると考えます。5つの能力のいずれか1つを欠いても合格は遠ざかります。この講座ではその内「読解力」「思考力」「記述力」の基礎を学習します。

【進め方】

読解力については、与件文に現れるヒントのパターンを概説し、過去問題の与件文を見ながら解答への関わりを解説します。思考力については2次試験において最重要なロジカルシンキング、中でも必要度の高い「フレームワーク思考」「MECE」「ロジックツリー」について解説します。

記述力についてはそもそも「何故分りにくく読みにくい文章が生まれるか」の原因を、例えをベースに考え「読みやすくわかりやすい文章の基本（形式的原則）」を確認します。

B1

2次基礎スキルマスター

【ねらい】

2次試験に必要とされる1次試験知識を重点的に復習します。よく「1次試験に合格したのだから知識は十分である」という話を耳にします。しかしこれは大きな誤解であり、鵜呑みにすることは非常に危険です。マークシート方式の1次試験では「知っているかどうか」が問われるのに対し2次試験では「使いこなせるかどうか」が問われます。更に1つの知識の有無が不合格に直結する恐ろしさがあります。そもそも求められている質の水準が違うことを十分意識して、試験の対策を立てる必要があります。

【進め方】

KECで「知識応用フレームワーク」といった“負荷の高いトレーニング”を行うことにより、本番で100%引き出せる「知識力」を養成し、更に2次試験の解答に「どのように知識を活用するか」を「過去問題」を素材に解説します。例えば「事例Ⅱ」と「事例Ⅰ・Ⅲ」では必要な知識の「解答への応用のされ方が違う」ことをご存知でしょうか？非常に重要な視点であり「合格への勘所」の一つなのですが、このあたりの理解が不足している（そもそも問題意識がない）受験生が多く、また今までは「センス」で片付けられていた所かもしれません。とにかく、自身の「知識そのものの不足」と「知識を応用する力の不足」を初期に洗い出しておくことは合格への必要条件であると考えます。

B2

ロジックツリー演習

単元	①	②	③	④	⑤
主要内容	経営戦略	組織・人事	組織・人事	マーケティング	マーケティング
単元	⑥				
主要内容	生産管理				

コースのご案内 | フェーズ・講座

A:1次対策 97回				B:2次基本 26回				C:2次演習 18回		D:2次直前 26回	
A1	A2	A3	A4	B1	B2	B3	B4	C1	C2	D1	D2
54回	27回	2回	14回	2回	6回	10回	8回	9回	9回	11回	15回
基本講義	実力養成演習	財務速答	実践演習	2次基礎スキルマスター	ロジックツリー演習	2次基礎能力実践	2次解法マスター	計算能力強化	過去問徹底分析	事例Ⅳ徹底攻略	過去問徹底演習

B 2次基本

2次試験対策の基礎力となる「1次試験知識を2次試験で活用する能力」と「読解力」「思考力」「記述力」を習得します。

【ねらい】

2次基礎スキルマスター講座の実践応用編という位置づけになります。「読解力」「思考力」「記述力」を本試験レベルに引き上げます。

【進め方】

読解力：2次試験の与件文には過去から連続と続く「読解のポイント」や「手がかりになる記述のパターン」があります。本番の短い時間の中ではいかに早く正確にこれらの記述を捉えられるか否かが合格答案作成の前提条件となります。読解のポイントを解説した上で、そのポイントが過去問題でどのように表現されているかを見ていきます。

【思考力】

実際のビジネスの現場ではラテラルシンキングやクリティカルシンキング等も必要となりますが、この試験に限ってはロジカルシンキングが鍵になります。

その中でも特に必要とされる「フレームワーク思考」「MECE」「ロジックツリー」について、本試験解答の過程でどのように利用されるか過去問題を使い演習を行います。

【記述力】

すべての力が揃っていても受験生と試験委員との接点は答案だけです。しかし、普段パソコンに頼り切っている方も多くなっており、内容はともかく非常にわかりにくい文を書く方も大勢いらっしゃいます。KECでは、実際の2次試験答案解答例を見ながら「どこがなぜ悪いのか」「どう直せばよくなるのか」を論理力の観点からも併せて演習、解説を行います。

【教材の具体例】 - 平成24年事例Ⅲの解答分析例

平成24年事例Ⅲの解答分析

Q. 解答例A~Cの各設問について、下記の視点のうち、

①どの視点に問題があるかを選択し、②その問題点を説明してください。

【視点】

ア.設問に対する答えになっているか

イ.因果は正しいか

ウ.与件文と離れていないか

エ.主語と述語が整合しているか

オ.設問間の整合性はとれているか

カ.その他

単元	①	②	③	④	⑤
主要内容	事例Ⅰ	事例Ⅰ	事例Ⅰ	事例Ⅰ	事例Ⅱ
単元	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
主要内容	事例Ⅱ	事例Ⅱ	事例Ⅲ	事例Ⅲ	事例Ⅲ

コースのご案内 | フェーズ・講座

A:1次対策 97回				B:2次基本 26回				C:2次演習 18回		D:2次直前 26回	
A1	A2	A3	A4	B1	B2	B3	B4	C1	C2	D1	D2
54回	27回	2回	14回	2回	6回	10回	8回	9回	9回	11回	15回
基本講義	実力養成演習	財務速答	実践演習	2次基礎スプレッドシート	ロジックツリー演習	2次基礎能力実践	2次解法マスター	計算能力強化	過去問徹底分析	事例IV徹底攻略	過去問徹底演習

B 2次基本

2次試験対策の基礎力となる「1次試験知識を2次試験で活用する能力」と「読解力」「思考力」「記述力」を習得します。

①・② 事例共通解法

- ・ タイムマネジメント ・ 実践的メモの取り方
- ・ マーカーの使い方 ・ トリプルループ思考 等



③～⑧ 事例別共通解法



【ねらい】

2次試験には「事例共通(事例IVは少し特殊)の考え方や解法」と「各事例毎の独特の考え方や解法」が存在します。またケアレスミス防止のためのリスクマネジメントも重要になります。2次試験の会場において合格答案作成に利用できるものは「1次知識」「与件文」「設問文」「フレームワーク」の4つだけです。また、事例毎に、解答に求められている考え方や解答作成過程には、大きく、はっきりとした違いがあります。本講座ではそれぞれの事例別に把握しておくべき特徴や傾向を概説した上で上記4要件を使用していかにか題意を外さない合格答案を作成するかを解説します。

【進め方】

最初の2回では事例共通の解答方法を解説し、併せて試験委員対策等を行います。その後3回から8回では事例別の「フレームワーク」「事例によるクセ」「過去から一貫して問われている事」等と「解答の実際的な手順」を説明します。偶数回では実際に過去問を解いて頂き、グループで解答を検討の上、講師が解説を行います。

単元	①	②	③	④	⑤
主要内容	総論	解答フロー	事例I対策	事例I演習	事例II対策
単元	⑥	⑦	⑧		
主要内容	事例II演習	事例III対策	事例III演習		

B4

2次解法マスター

まずは無料個別ガイダンスにご予約ください

一人ひとりの方々の状況に合わせて、中小企業診断士の講師が個別にご説明いたします。キャリアや勉強方法などのご相談もお受けいたします。お気軽にお越しください。



コースのご案内 | フェーズ・講座

A:1次対策 97回				B:2次基本 26回				C:2次演習 18回		D:2次直前 26回	
A1	A2	A3	A4	B1	B2	B3	B4	C1	C2	D1	D2
54回	27回	2回	14回	2回	6回	10回	8回	9回	9回	11回	15回
基本講義	実力養成演習	財務速答	実践演習	2次基礎スプレッド	ロジックトレーニング	2次基礎能力実践	2次解法マスター	計算能力強化	過去問徹底分析	事例IV徹底攻略	過去問徹底演習

C 2次演習

過去問演習、ディスカッション、計算演習トレーニング等により、2次対策の実力を養成します。

【ねらい】

2次試験に対応した「計算力」を高めます。2次試験の中でも事例IVは他の事例と違い計算力が求められます。また他の受験生も十分な準備をしてくるため、事例IVで一定の得点を上げることは合格の必要条件となります。KECでは独自のFBメソッドを使い、頻出で差の出やすい分野を戦略的に攻略することで他の受験生から頭一つ抜け出すことを目指します。

【進め方】

事例IVは他の事例と違い出題範囲が集中しているため対策の方向性がわかりやすいことが特徴です。(もちろんこの事は「対策が簡単である」ということを意味しません)

KECの対策は頻出5分野「経営分析」「CF計算書」「CVP」「NPV」「企業価値」を中心に、

①合格を争うレベルの受験生なら確実に得点するであろう「経営分析」「CF計算書」「企業価値」は確実なものにし、②頻出かつ最も差のつきやすい「CVP」「NPV」ではKEC独自のFBメソッドを使いこなすことにより他の受験生との差別化を図ります。経営分析では解法の解説の後演習を行い、指標選択の根拠についてグループディスカッションをしていただきます。他の分野についてはFBの使い方の解説と演習が中心となります。

[CVP分析のFB表]

売上						
-変動費						
=限界利益						
-固定費						
=営業利益						

CVPの問題を解く時に使うFBです。2次試験ではCVPは複雑な問題が多く、緊張した本番ではミスが多発します。どのような問題がきてもこのテンプレートを使って問題を解くことによりミスの危険を最小限にします。

※フレキシブルボックスとは与えられたデータを予め用意したボックスに埋め込み、決まった手順で計算することでミスを減らすKEC独自のメソッドです。

単元	①	②	③	④	⑤	⑥
主要内容	FBの使い方	CVP	NPV	CF	R&R	企業価値計算
単元	⑦	⑧	⑨			
主要内容	経営分析I	経営分析II	総合演習			

まずは無料個別ガイダンスにご予約ください

一人ひとりの方々の状況に合わせて、中小企業診断士の講師が個別にご説明いたします。キャリアや勉強方法などのご相談もお受けいたします。お気軽にお越しください。



コースのご案内 | フェーズ・講座

A:1次対策 97回				B:2次基本 26回				C:2次演習 18回		D:2次直前 26回	
A1	A2	A3	A4	B1	B2	B3	B4	C1	C2	D1	D2
54回	27回	2回	14回	2回	6回	10回	8回	9回	9回	11回	15回
基本講義	実力養成演習	財務速答	実践演習	2次基礎スキルマスター	ロジックトレーニング	2次基礎能力実践	2次解法マスター	計算能力強化	過去問徹底分析	事例Ⅳ徹底攻略	過去問徹底演習

C 2次演習

過去問演習、ディスカッション、計算演習トレーニング等により、2次対策の実力を養成します。

【ねらい】

他の国家試験同様、過去問題の徹底した研究は合格への最短距離であるとKECは考えます。本試験問題の演習を通じて2次基礎スキルマスター講座で学習した「読解力」「思考力」「記述力」を実践強化します。

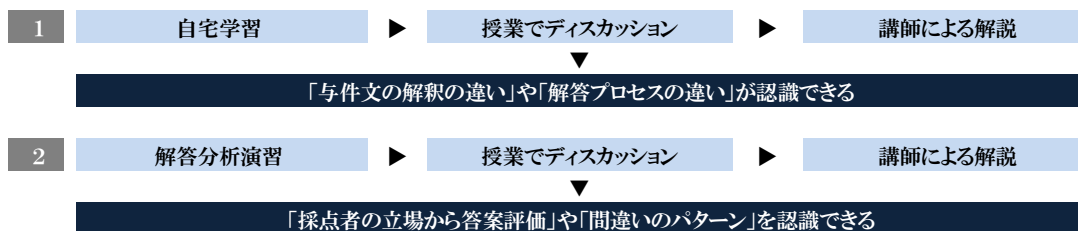
【進め方】

この講座の内容は大きく2つに分かれます。1つは事例ⅠからⅢについて実際の過去問題について、あらかじめ自宅での時間の制約を設けず解答を作成し、それを授業に持ち寄り、講師が立ち合いの下、受講生同士のグループで討議します。解答が分かれたり、難問といわれる問題について何を根拠にその解答に到達したかを議論し、グループごとの結論を出していただき、最後に講師の見解と解説を行います。

2つ目は解答例の分析です、1問につき3～4題の解答例を示し、その中での優劣を判断するトレーニングです。分析の基本は「比較」にあります。解答例を漫然と読むのではなく分析し優劣をつける作業を行う過程で「1次知識の応用の仕方」「してはいけない間違いのパターン」「採点者の立場に立った答案の評価」等、知識力・思考力・記述力の総合的強化を図ります。

■ 添削の答案の受渡しについて

<通学>	<オンライン>
①答案のご提出 ▶ 出席の場合は教室にてご提出 ▶ 欠席の場合は指定のグーグルドライブのフォルダにご提出 ②答案のご返却 ▶ 指定のグーグルドライブのフォルダにご返却	①答案のご提出 ▶ 指定のグーグルドライブのフォルダにご提出 ②答案のご返却 ▶ 指定のグーグルドライブのフォルダにご返却



☆東京・新宿本校 ★大阪・梅田本校

単元	①	②	③	④	⑤
主要内容	事例Ⅰ	事例Ⅰ	事例Ⅰ	事例Ⅱ	事例Ⅱ
添削対象事例	☆ ★		☆ ★	☆ ★	
単元	⑥	⑦	⑧	⑨	
主要内容	事例Ⅱ	事例Ⅲ	事例Ⅲ	事例Ⅲ	
添削対象事例	☆ ★	☆ ★		☆ ★	

C2

過去問徹底分析

担当講師の添削サービス6回付き

コースのご案内 | フェーズ・講座

A:1次対策 97回				B:2次基本 26回				C:2次演習 18回		D:2次直前 26回	
A1	A2	A3	A4	B1	B2	B3	B4	C1	C2	D1	D2
54回	27回	2回	14回	2回	6回	10回	8回	9回	9回	11回	15回
基本講義	実力養成演習	財務速答	実践演習	2次基礎スクリプト	ロジック演習	2次基礎能力実践	2次解法マスター	計算能力強化	過去問徹底分析	事例IV徹底攻略	過去問徹底演習

D 2次直前

8月の1次試験終了以降を2次試験直前期と位置付け、5大能力「読解力」「思考力」「記述力」「知識力」「計算力」をバランスよく徹底習得し、本試験問題で対応できる実践力を養うと共に、2次試験特有の解答テクニックも習得します。

[CVP分析のFB表]

売上			
-変動費			
=限界利益			
-固定費			
=営業利益			

CVPの問題を解く時に使うFBです。2次試験ではCVPは複雑な問題が多く、緊張した本番ではミスが多発します。どのような問題がきてもこのテンプレートを使って問題を解くことによりミスの危険を最小限にします。

※ フレキシブルボックスとは与えられたデータを予め用意したボックスに埋め込み、決まった手順で計算することでミスを減らすKEC独自のメソッドです。

【ねらい】

事例IVは他の事例と違い計算問題が存在するため受験生の得点差が開きやすい科目です。また苦手意識を持つ受験生も多く事例IVの得点のみが低く不合格になるケースも多く見られ、受験する側にとって怖い所でもあります。KECの独自メソッドであるFBを使い「頻出分野の完全理解」と「事例IVに対する絶対の自信」を持って頂くことを目指します。計算能力強化(C1)より難易度が高い問題を繰り返し解く練習を重ねていきます。

【進め方】

本講座では実力向上に資する「レベルの高い良問」を「FBを使って解くトレーニング」を行い真の計算力向上を目指します。また過去問の中から頻出論点が高い分野を絞って、演習・解説を繰り返し行い、与件を読み解く力の向上を目指します。

単元	①	②	③	④	⑤	⑥
主要内容	CVP	CF	NPV	R&R	企業価値計算	経営分析I
単元	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	
主要内容	経営分析II	デリバティブ	総合演習I	総合演習II	総合演習III	

まずは無料個別ガイダンスにご予約ください

一人ひとりの方々の状況に合わせて、中小企業診断士の講師が個別にご説明いたします。キャリアや勉強方法などのご相談もお受けいたします。お気軽にお越しください。



コースのご案内 | フェーズ・講座

A:1次対策 97回				B:2次基本 26回				C:2次演習 18回		D:2次直前 26回	
A1	A2	A3	A4	B1	B2	B3	B4	C1	C2	D1	D2
54回	27回	2回	14回	2回	6回	10回	8回	9回	9回	11回	15回
基本講義	実力養成演習	財務速答	実践演習	2次基礎スプレッドシート	ロジックツリー演習	2次基礎能力実践	2次解法マスター	計算能力強化	過去問徹底分析	事例IV徹底攻略	過去問徹底演習

D 2次直前

8月の1次試験終了以降を2次試験直前期と位置付け、5大能力「読解力」「思考力」「記述力」「知識力」「計算力」をバランスよく徹底習得し、本試験問題で対応できる実践力を養うと共に、2次試験特有の解答テクニックも習得します。

< ① ③ ⑤ ⑦ ⑨ ⑩ ⑫ ⑬ ⑮ > 回講義



< ② ④ ⑥ ⑧ ⑪ ⑭ > 回講義



【ねらい】

過去問の重要性を否定する人は少ないでしょう。しかし「私は過去問をしっかりと分析して正解も自信を持って理解している」と言い切れる受験生はどれくらいいるでしょうか？過去問について「やったつもり・解ったつもり」の人が多くはないかと思います。2次解法マスター講座に続き、本講座では「過去問」を演習する事による「応用力」の強化を図ります。また、KEC では受講生間の「ディスカッション」を重視しますが、それには理由があります。個人の頭の中にはそれぞれ「過去の経験」「性格」「遺伝」「受けた教育」等により問題に対処するための「認知構造」（本来の学術的意味とは少し異なります）が確立されています。そして、重要なことはその「認知構造」は自覚できず、他からの指摘を受けないと認識できないという事です。他の受験生と討議し他の答案に触れる事によって「自分の強みや弱み」「勘違いや思い込み」を認識し、思考を合格のベクトルに合わせていきましょう。「自分の事は他と比較しないと解らない」ことを実感されると思います。

【進め方】

事例Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを各5回ずつ取り組み、全5回の内、3回については、授業中に本試験と同じ80分で問題を解答して頂き、指定した問題についてグループ討議の上、グループで出した結論を発表して頂きます。本試験の「80分でのタイムマネジメント」と「限られた時間における難問への対処法」等、実践演習に力点を置きます。2回については、あらかじめ指定した過去問を自宅で解き、それを授業に持ち寄り、グループ討議をしながら、制限時間を考えずに純粋に深く問題の正解を追及します。実力の向上には「時間内に不合格とならない答案を書き切る訓練」も重要ですが、「深く徹底的に過去問を掘り下げる事」も極めて重要です。全ての回でグループ討議発表の後、講師が解説の上、解答例を配布します。優秀答案や特徴のある答案については選択の上、お名前を伏せてコピーし、配布します。これを十分検討することにより、「自分とは違う解答への考え方」や「表現法」「ありがちな間違い」等を幅広く学ぶことができます。

■ 添削の答案の受渡しについて※P36 参照

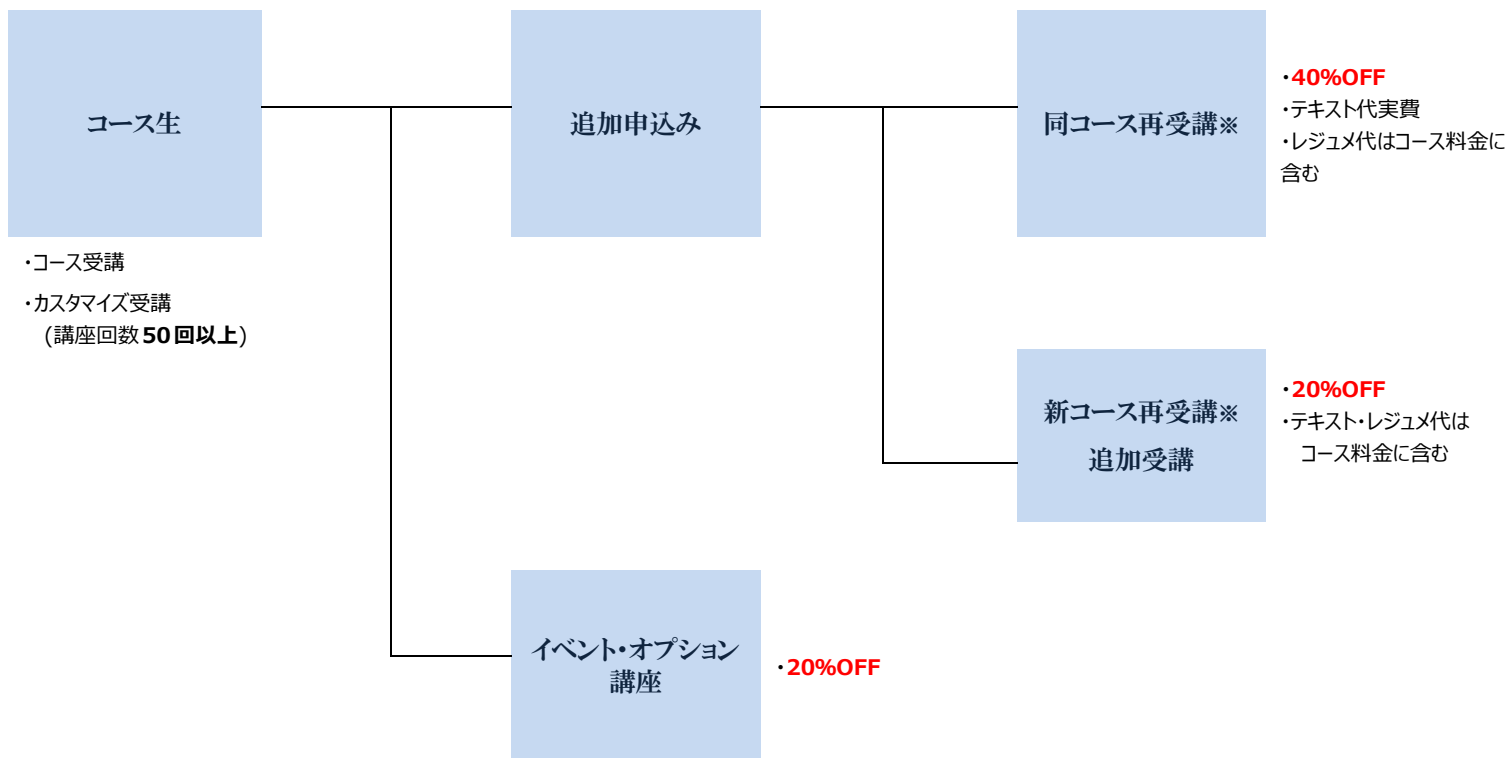
D2

過去問徹底演習

担当講師の添削サービス9回付き

コースのご案内 | 割引制度規定

[在校生向け割引制度]



単科生

※再受講の場合、入学金 15,000 円(税込 16,500 円)、事務手数料 5,000 円(税込 5,500 円)となります。

[新規生向け割引制度]

他校乗換割引	他校で同様のコースの受講経験がある方向けの割引です。※コース申込みのみ適用	入学金 15,000 円(税込 16,500 円)入学金 - 10,000 円(税込 11,000 円)+20%OFF
友人紹介制度	在校生から紹介を受けた場合の割引です。	入学金 15,000 円(税込 16,500 円)入学金 - 10,000 円(税込 11,000 円)+10%OFF
グループ割	2 名以上で同時にお申込みを受けた場合の割引です。	入学金 15,000 円(税込 16,500 円)入学金 - 10,000 円(税込 11,000 円)+10%OFF
法人契約割引	お勤め先の法人が当校と契約する(している)場合の割引です。	入学金 15,000 円(税込 16,500 円)入学金 - 10,000 円(税込 11,000 円)+10%OFF

※併用不可 (教育訓練給付金制度は併用できます)

まずは無料個別ガイダンスにご予約ください

一人ひとりの方々の状況に合わせて、中小企業診断士の講師が個別にご説明いたします。
キャリアや勉強方法などのご相談もお受けいたします。お気軽にお越しください。



コースのご案内 | D:2次直前の次年度持ち越し制度

KEC ビジネススクールでは、1次試験後に始まる、2次直前（Dフェーズ）を次年度に持ち越すことができる制度がございます。1次試験に合格をした年に2次直前(Dフェーズ)を受講することができますので、2次試験を受験する年度に受講できるメリットがあります。

A:1次対策 97回				B:2次基本 26回				C:2次演習 18回		D:2次直前 26回	
A1	A2	A3	A4	B1	B2	B3	B4	C1	C2	D1	D2
54回	27回	2回	14回	2回	6回	10回	8回	9回	9回	11回	15回
基本講義	実力養成演習	財務速答	実践演習	2次基礎スプレッド	ロジックリーディング演習	2次基礎能力実践	2次解法マスター	計算能力強化	過去問徹底分析	事例IV徹底攻略	過去問徹底演習

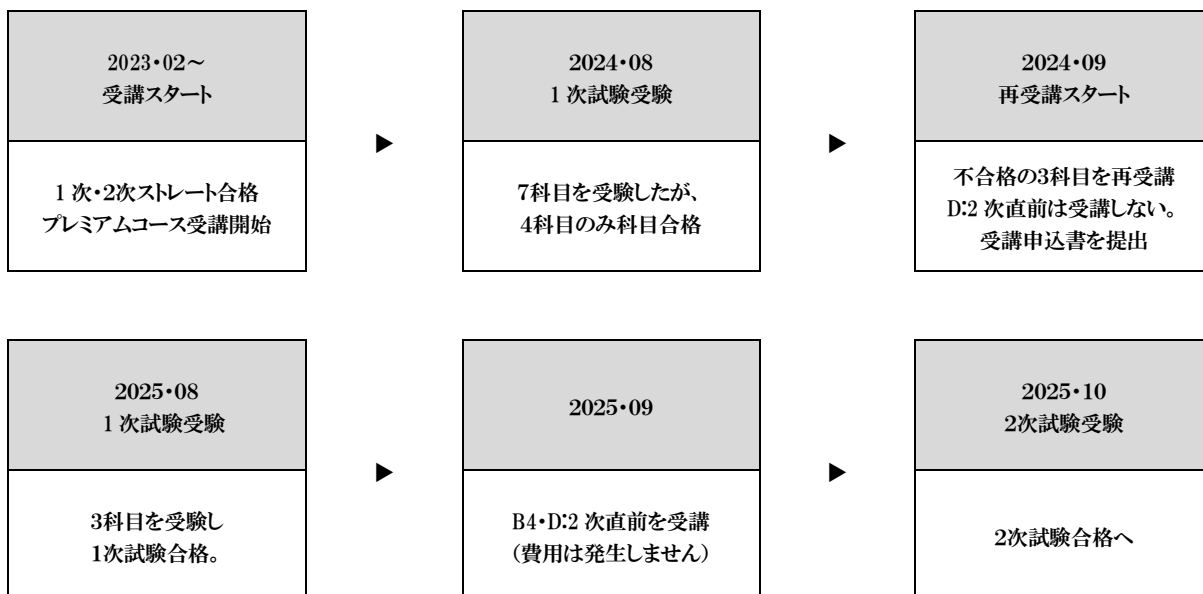
対象コース：Dフェーズを含む、全てのコース

条件：残念ながら1次試験で落とした科目の再受講もしくはコースの再受講

申請方法：受講申込書の、D：持ち越し制度を利用するにチェックを入れてください。

注意点：教育訓練給付金を申請された方は、本制度を利用することで出席率が80%を切る可能性がありますので申請する際は事務局まで出席率の確認をお願いします。

例：



まずは無料個別ガイダンスにご予約ください

一人ひとりの方々の状況に合わせて、中小企業診断士の講師が個別にご説明いたします。キャリアや勉強方法などのご相談もお受けいたします。お気軽にお越しください。

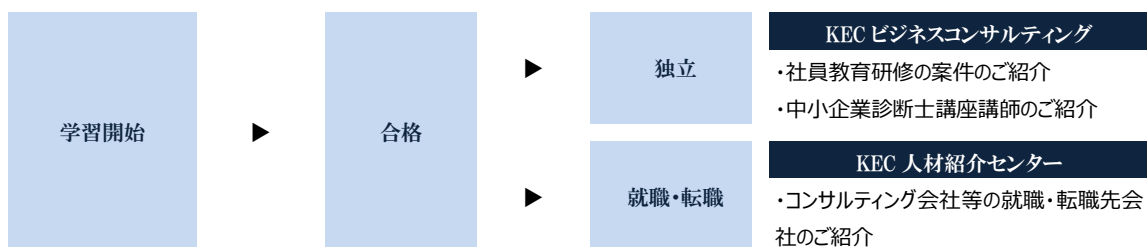


合格後を考えた取り組み | Job Support

合格後の自身の姿をイメージし、学びの意義と成果を高めるために

私たち KEC は、資格取得がゴールではなく、資格を活用して実社会で活躍することを目的としています。中小企業診断士は、自分の価値を高めるだけでなく、クライアントへのコンサルティング、企業内診断士としての活動、中小企業診断士仲間との共働を通じて、多くの企業とその従業員の価値を高めることで、住む世界をより良くすることができます。よって KEC は実社会で活躍する優秀な中小企業診断士を多数輩出するために、合格後に様々なサポートをご用意しております。

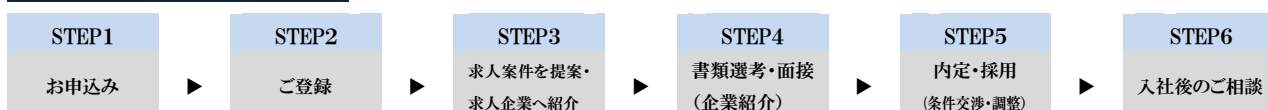
独立・就職・転職サポート



当社異業種交流会あすなろ EXE・商工会議所との連携により、常に企業情報の意見交換をしております。年間4回以上の会合の中から常に**3,000社以上**のデータベースを保有し、鮮度の高い求人情報等のビジネスチャンスを収集しております。

また、2016年度からグローバル研修を実施しております。そこに集まった時代の最先端をリードする経営幹部様とも連携しております。

KEC 人材紹介の流れと仕組み



※学習開始段階からでも、お申込み・ご登録することは可能です。

実績

中小企業診断士講座 講師採用実績人数：10名 研修案件紹介実績数：30件 保有有効求人数：50件 (2020・5)

※すべて KEC 中小企業診断士講座 受講生からの実績数によるものである。

お問い合わせ

☎：KEC 人材紹介センター

🌐：http://www.jinzai.kec.ne.jp/ 担当：小西

☎：06-6347-7337 ■ FAX：06-6347-7338 ■ 厚生労働大臣認可番号 27-ユ-020271

KEC 教育グループは創業47年。 「学ぶ人々と成長する社会」に貢献する活動を行っています。

中小企業診断士講座を運営するKECビジネススクールが属するKEC教育グループは、1974年の創立以来「教育一筋」で小学生から社会人・企業までの成長、夢の実現を支援しています。

グループ	KEC 教育グループ
社名	ケイ.イー.シー.株式会社 ケイ.イー.シー.実践教育企画株式会社 株式会社ポップス
本社所在地	〒573-0031 大阪府枚方市岡本町 4-10
設立	1974年2月
従業員数	428名(社員114名・非常勤講師314名)
拠点数	36拠点(延べ拠点数)
事業内容	<ul style="list-style-type: none">● KEC ビジネススクール&コンサルティング(社員教育研修/適性診断テスト/中小企業診断士講座/経営コンサルティング)● KEC キャリア教育センター(キャリア教育支援/就活ゼミ/求職者支援訓練/キャリアデザイン/資格対策講座)● KEC コンピュータ学院(パソコン指導/企業対象PCスキル研修)● KEC NLP インスパイアー(国際NLP協会認定コース/NLP企業研修/個人セッション)● KEC 人材紹介センター/KEC 人材派遣センター(人材紹介/人材派遣/再就職支援)● KEC 外語学院(英会話/TOEIC/TOEFL/英検/各種語学指導/企業対象語学研修)● KEC 日本語学院(日本語教師養成/日本語教育能力検定)● KEC 近畿予備校(大学受験予備校)● KEC 近畿教育学院(学習/進学/受験指導塾)● KEC 個別指導メビウス(個別指導塾)● KEC 家庭教師センター(プロ家庭教師派遣)● KEC 高等学院(通信制高校)

